

利用学習計画書

平成25年5月21日

担当 第6学年 新田 美奈子

1 ねらい

縄文時代や弥生時代の学習をしてきた。今回の見学や石器づくりなどを通して、体験的に当時の生活やその工夫を感じ、その他の歴史学習についても興味を持って取り組む。

2 評価

旧石器時代の人々の暮らしに関心を持ち、進んで見学したり、体験活動に取り組んだりしている。展示物の見学や活動を通して、縄文時代の人々の生活やその工夫に関心をもって取り組むことができたか。

3 学習活動について

教科：社会科「米づくりのむらから古墳のくにへ」*米づくりが始まる前の時代

- ・縄文時代の人々の生活や工夫について関心をもつ。
- ・縄文時代の生活の様子について調べようとする。

4 事前指導

- ・「地底の森ミュージアム」の概要
- ・「縄文の森広場」の概要
- ・縄文時代・弥生時代の学習は終了している。
- ・見学当日の活動予定について。

5 当日の指導（活動）内容

(1) 地底の森ミュージアム

1) 見学学習

館職員の説明を聞きながら学習〈学習ノートを利用〉

2) 体験学習

石器づくり

(2) 縄文の森広場

1) 見学学習

・復元住居・遺構表示などの野外展示及び館内の展示見学
体験学習終了後、見学をする。〈探検ノートを利用〉

2) 体験学習

・石のアクセサリー

・火おこし

・編布

6 事後指導

感想の記述、ワークシートの記入、壁新聞の作成と掲示

利用学習報告書

平成25年7月2日

担当 6学年 新田 美奈子

1 事後指導について

(1) 実施日

平成25年6月4日(火)

(2) 主な内容

社会科の授業で、体験や見学してきたことを全員で確認した。確認するときには、それぞれの施設でいただいた探検ノートや学習ノートを使って確認したので、大切なことをきちんと押さえながら復習することができた。また、その後、個人ごとに新聞という形でまとめた。まとめた後、教室内に掲示してみんなで見合う活動を行った。

2 送付する資料

児童生徒の学習後のまとめの新聞(6点 6名分)

古代歴史新聞

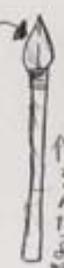
6年1組

D7

年表

旧石器時代跡

鹿の角でたいて
作るんだよね



この石器はやり
に使われる。

ナイフ形石器



二万年前は旧石器時代
とよばれ、人類の進化
では新人の段階にあ
る。氷河期と呼ばれ
る。ふいに、とても寒い気
候だ。た。そして海面
は今より百メートル違
く低くなり、北海道は
大槓子陸続きには、て
いました。

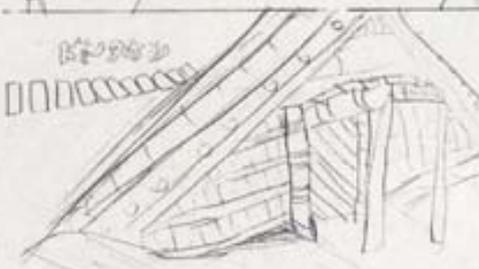
縄文時代

縄文時代がなまごに
「アケセサリ」かありま
し。種類はたくさん
あります。勾玉、サメ
の歯、鹿の角なども使
ったアケセサリがあ
りました。

樹木の多くはトウヒや
グイマツなどの針葉樹
び。それにミツカンベ
やハニノ、オナジの広葉
樹がまじり、その辺に
にはハシバミやソウジ
などの広い木もありま
した。また、リンドウ
草原にはスゲやヤブの
なまかなどいろいろ
な草が生えていたよ
うです。そして現在ど
トミゲワに「縄文」に
最も似ている樹木は、
アカエゾマツである。



15年前	紀元前500年前	西暦0年	500年	1000年	1500年	山形時代	室町時代	江戸時代
旧石器時代	縄文時代	弥生時代	古墳時代	平安時代	室町時代	室町時代	室町時代	江戸時代



この時代、縄文時代か
んは、堅穴住居とい
う建物に住んでいたま
した。クリ材の木の
骨組みを造り、屋根に
土をのせた土屋作り
アの住居に、こころ
「縄文時代」といって
この時代に粘土で作
た工器に縄文の文様
をつけたりした草から、
縄文時代といふ名前が
つたといふ。ムラをつ
くり、おもに野山や川
海などの自然の恵みを
食へるのにしていた時
代で、およそ一万年も
の長い間続きました。

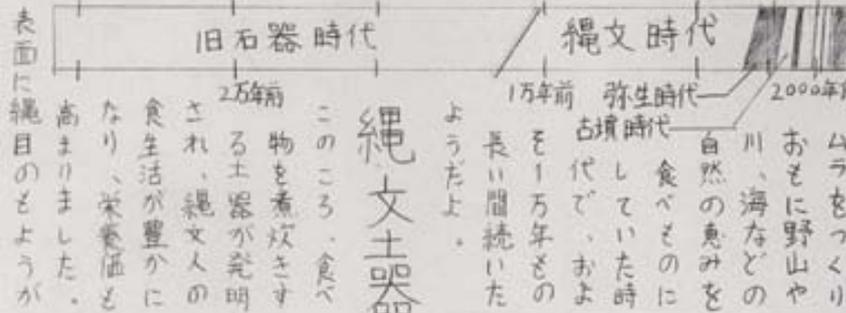


この空の周りに、
まじり穴も貯蔵穴、埋
設土器などがある。たし
いう。貯蔵穴は木の束
などをほぐしておへ
たみの穴のことです。
漆（し）は動物の糞や
ヤシカなどをくわら
ための穴です。こゝろ
たちの食べものはお
もに魚や貝、木の皮や
動物の肉などです。
木の皮は皮を取った
木を家の柱などに使
ました。木は石の斧
で切りだしました。

縄文時代の 木林広場

平成 25年
6月24日月
A男

縄文時代は



縄文土器

このころ、食べ物を煮炊きする土器が発明され、縄文人の食生活が豊かになり、栄養価が高まりました。表面に縄目のようが

あることから、縄文土器とよばれています。やがて、とり血用の浅い土器をつくられるようになりしました。



「土偶」からわかる

縄文の遺跡からは、土偶がよく見つかります。これは、わく土で形づくられた焼き物のく形でまじないの道具として使われたようです。右の土偶は耳がざりをつけ、かみにはくしをさしており、当時の母

性のおしゃれな想像をします。



木林の中で

縄文時代の人たちは、狩りから動物を分けたりして食べていました。お母さんたちが、土器焼きをしこいたり、お父さんたちが土器をつくる人などを呼ぶ、こいしました。おばあちゃんとうどきお方は若草つみをしていました。



見つかっています。さっと縄文時代を知るために

縄文の森広場があるとこは、なんとこの遺跡？
山田上ノ台遺跡
この遺跡はどのくらいむかしの遺跡？



土をほるための棒(杵)など
一・二〇〇年前



縄文時代の人が食料として食べた貝がらや動物の骨を捨てる場所が、決まっていたようです。そのため、むらがあつた場所のそばの地層からは、貝がらや動物の骨土器のかけらなどが発掘されます。こうした遺跡を「貝塚」とよびます。



縄文時代の木林広場

六年二組
B子

縄文時代のくらし

縄文時代の人たちは、たて穴住居という家に住んでいました。たて穴住居の中は広いですが、家の中のおいひは、くさいです。その理由は、火を使わず、長年使っていた木にそのにおいがついて、中のおいひがくさいです。

縄文時代の人の食べ物は、魚や動物や山菜や木の皮を食べていました。魚は毒をついて、動物はつかまえて、山菜と木の皮は木や草などからとります。

縄文時代の道具



この道具は、あなをあけろ道具です。



この道具は、木の皮をすりつぶす道具です。



この道具は、木を切ったり、かきおろす道具です。



この道具は、矢の先にける道具です。

このほかにも、いろいろな道具があります。

縄文人の様子



これはお母さんたちか、土器焼きをしています。



これはお母さんたち穴に木の皮をたくわえています。



これはお母さんたちか、土器を焼いています。



これはお父さんたちか、土器をつくらせている。



これはおばあちゃんたちか、土器をつくらせている。

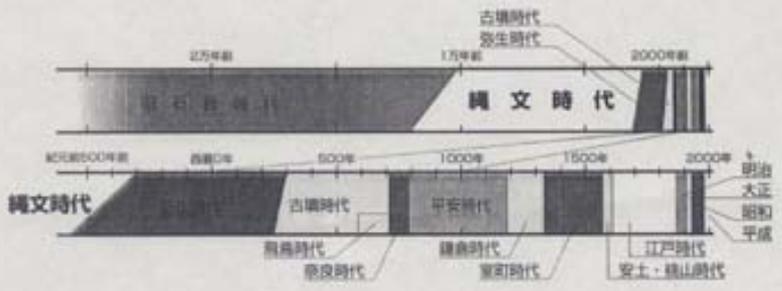


これはおばあちゃんたちか、土器をつくらせている。



縄文時代の人は、こうして、自分の手で食をつくらせていました。

この左の図を見ると、縄文時代は、一万年も続きました。縄文時代の人々は、このように、人々と協力したり、自分の力で物を作ったりして、くらししていました。



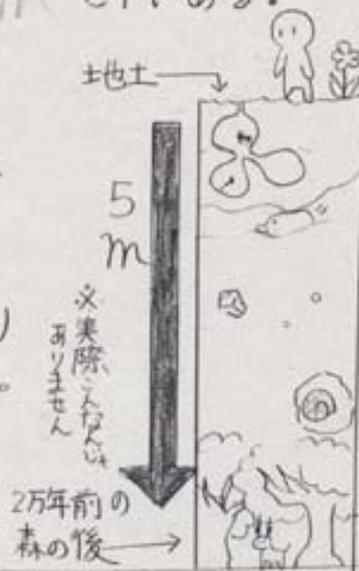
地底の森ミュージアムの森のあととは、
のもので地上から

(氷河期)

も下にある!

この森のあとからは、
「シカのフン」や「虫」などの化石も
沢山見つけました。

その他に、生活のあとも見つかり
ました。たき火のあとや、石器づくり
の時に出土した石も見つかっています。
この生活のあとは、木の少ない
ところにあったそうです。



地底の森新聞

A子

昆虫



クロヒメ
ゲンゴロウ

この化石もあつたそうです。
この事から、森の近くに水辺
があつたとされています。

ハシバミ
クワ

シカのフンの中
から見つかった
ので

木 トミザワ
トウヒ



トミザワトウヒは絶滅
しましたが、その木に最近
今も生えている木は
アカエゾマツです。

仙台より
年平均温度は
7~8度低い!

食



えもの
これなかつた

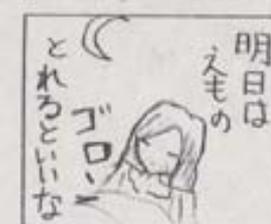
今日も



帰れない



明日の石器作って



とれるといな
ゴロン

明日は
えもの

—旧石器人—(想像)

石器づくり

しかのツノで石をやる
きれいな型にするには
長い年月がかかる
氷型になるように
頑張り!

ヤリの先を作ったよ!

石器の石は
「負石」
とても重く、
山形県で
とれるとても
貴重な石。

END